

令和元年度 自己評価書

学校名 北海道苫小牧東高等学校(全日制)

1 本年度の重点目標

- (1) 志高く、旺盛な探究心と自学自習の姿勢を持った高い学力を有した生徒を育成する。
- (2) 謙虚な心と公共の精神を育み、伝統や校風を重んじる品格ある生徒を育成する。
- (3) 自己理解に基づき自らを生かす進路を選択し、実現に向けて努力する生徒を育成する。
- (4) 心身を鍛え、強靱不屈の精神と健康で安全に生活する態度を身に付けた生徒を育成する。

2 自己評価結果

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策
大項目	中項目	小項目			
教育課程・学習指導	教育課程等の状況	学習指導要領や医進類型等に対応した教育課程の編成・整備を行う。	B	B	次期学習指導要領に基づいた教育課程を編成し、育てたい生徒像の実現に向けた方策を検討する。
		シラバス(学習の手引)を作成し、生徒の目的意識の明確化を図る。	B	B	
	各教科等の授業の状況	主体的な学習態度の育成を図り、学力の向上に努める。	A	A	教科・科目の学習のほかにも、総合的な探求の時間や特別活動もより一層充実させ、調和のとれた生徒を育成する。
		年間のLHR計画の立案を各分掌の協力のもとで行い、効果的な運営を推進する。	A	A	
生徒指導	生徒指導の状況	生徒の自主・自律の態度・行動を養い、集団の規律・風紀を確立するよう意識付けをする。	B	B	生徒の自己指導能力育成に向けて、教員全員で継続して生徒の指導にあたる体制をより一層充実させる。
		地域・保護者・関係機関との連携を強化し、問題傾向の早期発見とその指導に努める。	B	B	
	生徒の人格的発達のための指導の状況	各学年・分掌との連携及びホームルーム活動・生徒会活動を通して、基本的な生活習慣の確立を図る。	A	A	生徒指導部、教育相談委員会、スクールカウンセラーと協力して、生徒の問題行動の未然防止と早期解決に努める。
		教育相談や情報モラル教育の充実を図るとともに、生徒の望ましい人間関係の構築を支援し、いじめの未然防止に努める。 学校いじめ防止基本方針を踏まえ、ささいな兆候に注意し、懸念、生徒の訴えを抱え込まずに、組織的に対応する。	A	A	
進路指導	進路指導の状況	各学年・教科・分掌との連携を密にして、学校全体としての組織的な進路指導体制の確立に努める。	B	A	高大接続改革や大学入試改革に関する情報収集に努め、より一層の指導の充実に取り組む。
		前年度までの成果や反省および蓄積データを活用し、目的・意識を明確にした企画立案・実践を図る。	B	A	
	生徒の進路実現のための指導の状況	効果的な進路指導を推し進めるための校内研修の充実を図る。	B	B	生徒の進路実現のために、効果的な課外講習、面接指導、小論文指導に取り組む。
	生徒の進路実現のため、年間の課外講習、模擬試験、面接指導、小論文指導を計画し実施する。	A	A		
健康・安全指導	保健・安全指導の状況	体育活動への積極的な参加を促し、体力の増強と強固な意志の育成に努める。	A	A	生徒会活動や体育的行事を通じて、健康に関する資質や能力を育成し、心身のバランスの取れた生徒の育成に努める。
		教育相談委員会の指導体制の充実を図り、ホームルーム担任や生徒への支援体制づくりに努める。	A	A	

3 次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

- 1 教育課程・学習指導において、新学習指導要領に基づいた教育課程の編成に取り組み、教育活動全体を通じて「育てたい生徒像」の実現に向けて、ねらいや目的を明確にし、教員全員で取り組む指導体制を確立する。
- 2 生徒の自己指導能力の育成に向けて、個人面談をはじめとするガイダンス機能のより一層の充実を図り、生徒一人一人の進路目標の実現を目指すとともに、問題行動の早期発見・早期解決に努める。
- 3 教員の働き方改革の実現に向けて業務の精選を行い、教員が生徒と向き合える時間を確保する。